

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	都市交通施設	コード	作成者	役職	都市整備課長
		01-01-04		氏名	平田惣己治
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間	3.0 時間	

この施策の アピール ポイント	市民生活の利便向上や地域経済の活性化、通学路や緊急車両の通行など安全安心の確保等に寄与している。
-----------------------	--

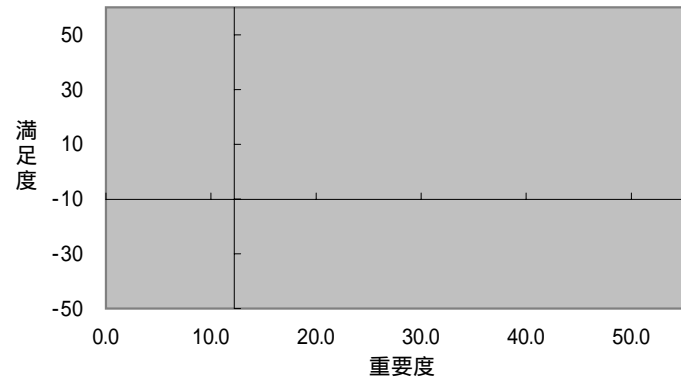
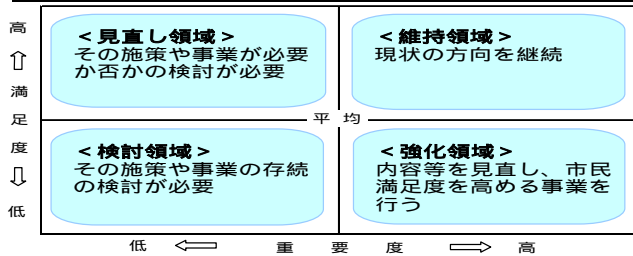
この施策の 平成23年度の 施政方針	記載なし
--------------------------	------

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	生活しやすいまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民はもとより、観光で備前市を訪れる方々のために安心・安全で快適な都市活動と活力あるまちづくりを促進するため道路、駐車場、歩道などの整備を行っていく。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の都市活動は、地形的な条件からほとんどを自動車交通に依存しており、そのネットワークは国道2号を軸に、国道250号及び国道374号、主要地方道などにより骨格が形成されている。都市計画道路の原状は23路線、約60.8Kmを計画決定しているもののその整備率は、12.1%にとどまっている。安全で快適な都市活動と活力あるまちづくりを促進するためには、国道2号などの骨格路線の整備はもとより、地域内補助幹線道路、駐車場、歩道などの整備が必要。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路については随時、社会情勢等を踏まえ見直しを検討して行く。</li> <li>幹線街路のうち国、県管理の道路については国及び県に強力に要望する。特に国道2号については、「国道2号整備促進期成会」の関係市町と連携し要望を行なう。</li> <li>駐車場については、公営駐車場の設置を検討するほか、民間駐車場も確保できるよう検討する。</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	B級グルメブームによる観光客増大の影響から、日生地区において駐車場整備の要望が強くなっている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
都市計画道路整備率	目標	%	13.0	13.0	13.0	改良済み延長/計画延長 7,810/44,420 = 17.6% 県平均57.0%	H24	18.0
	実績	%	12.3	12.3	17.6		H28	20.0
	達成率	%	94.6	94.6	135.4		-	-
	ベンチマーク						-	-
市営定期駐車場利用率	目標	%	90.0	90.0	90.0	平均契約区画数/総定期区画数 280.6区画/340区画=83% (日生260、吉永80)	H24	90.0
	実績	%	85.0	84.0	83.0		H28	90.0
	達成率	%	94.4	93.3	92.2		-	-
	ベンチマーク						-	-
まちづくり協議会の開催回数	目標	回	3	1	1	毎年度最低4回の開催	H24	4
	実績	回	4	1	1		H28	4
	達成率	%	133.3	100.0	100.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
都市整備課	都市計画道路の見直し	長期未着手路線について廃止も含めた検討を行なう。
国・県	道路整備についての連携	国県管理道路の早期整備促進を図り整備率の向上を図る。
国道2号整備促進期成会	構成3市1町との連携	市を東西に縦貫する骨格路線である国道2号の整備促進を図る。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	道路整備は都市活動の根幹的なものであり整備率は現況の把握としては妥当。駐車場利用率についても現状とニーズ把握の面から妥当。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	概ね適当。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	都市計画道路にあわせ、国・県道についても要望活動を強化し整備促進を図っていくが、状況は厳しい。	
進行年度(H24年度)の取組内容(課題解決状況)		伊部・浦伊部地区土地区画整理事業の見直しに伴い、同区域内の都市計画道路も見直しを検討している。	
翌年度(H25年度)の取組目標		国・県道の幹線道路整備を引き続き要望していく。	
二次評価者コメント		実現性の低い都市計画道路の廃止縮小により、今後の都市交通施設構築に向けての代替道路を整備していく必要がある。また駐車場については、住民要望や既存施設の利用を基に、地域の実情に合った整備、管理を行ってください。	基本施策への貢献度 <b>3 中立</b>
役職 産業部長 氏名 高橋昌弘			

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）									施策への 貢献度		
			平成21年度			平成22年度			平成23年度				平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当初予算	
1	都市交通施設事業	都市交通施設総括事務	単市	849	1,464	0.15	845	1,276	0.12	0	0	0.00	37	
2	市営駐車場管理事業	一般駐車場管理事業	単市	4,736	4,736	0.24	2,885	544	0.07	1,105	1,093	0.14	13,256	
		定期駐車場管理事業	単市	4,736	3,066	0.42		1,810	0.23	1,731	1,988	0.25		
この施策に費やした資源（単位：千円，人）				平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
				10,321	9,266	0.81	3,730	3,630	0.42	2,836	3,081	0.39	13,293	